

報 南 甲 大 東

第 8 号

発 行
平成17年5月7日



ごあいさつ

東播磨甲南会

会 長 森 滋 郎

昨年度は本当にいろいろな事件の多い年でした。

まず台風23号を始め、台風もたくさん来しました。

又、新潟県中越地震、又年末のスマトラ島沖地震の津波、豊岡の洪水等々天災があれば、又「鳥インフルエンザ」「ノロウイルス」による胃腸炎、「SARS」のこともありました。

先日新聞に甲南大学の入学式の写真に五千人の講堂一杯の写真がありました。

私の時は中学高校合わせて5000人でした。感慨無量ですね。

甲南ゆかりの人々と心を合わせ、「平尾イズム」を拡大しようではありませんか。

『健全なる常識を持った世界に通用する紳士たれ』



ごあいさつ

学校法人甲南学園

理 事 長 池 上 吉 藏

東播磨甲南会の皆さまの平素からのご支援に對しまして、心からの敬意と感謝を申し上げます。

平成14年に理事長を拝命以来、21世紀に光り輝く学園とするための基盤づくりに取り組み、教育研究費を含む経費削減を行い財政の健全化を図る一方、特定資産による新規事業への積極的投資を行い、教育・研究の質の向上、「オンラインワン」・「ナンバーワン」の創出、個性の具現化をめざし、教学主導型の学園運営を行なうてまいりました。

平成14年度は、「EBA総合コース」、「人間科学研究所」、「ネットワークキャンパス東京」の開設、15年度は、「先端生命工学研究所(FIBER)」の設立、16年度は、21世紀に求められる新しいローヤラーをめざして「法科大学院(ロースクール)」を開設、また、受託研究・共同研究に関わる研究支援業務・産官学のマッチング業務の遂行を担当するコーディネイト業務等を行なう「フロンティア研究推進機構」の立ち上げ、さらに学生の目標意識の育成・問題解決能力の修得を支援するた

め、就職部を「キャリアセンター」に、体育、スポーツ科学、健康科学に関する教育・研究活動の充実と向上等を図るため、

保健体育研究室を「スポーツ・健康科学教育研究センター」に組織変更するなど、新たな教育・研究活動を展開してまいりました。

また、本年4月には、本大学を中心として、企業、NPO、関係団体及び国内外の研究機関との共同研究を通じて、21世紀型ビジネスモデルを開発することを目的として、「ビジネス・イノベーション研究所」を設立いたしました。

これからの学園運営につきましては、問題点の発掘・情報の共有化を進め、提言・提案等を広く求めつつ、変化に適応するだけではなく、洞察力をもつて変化を先取りできる体制を構築したいと思っております。また、入学試験・教育内容・進路の各段階における一貫性のあるポリシーの確立と明確化により、内発的行動をもとに活性化策を企画・具現化して、教学の活性化や質の向上を図り、中期経営計画を策定してまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第13回 総会のご案内

◆開催日：平成17年6月11日(土)
PM 5:00~8:00

◆時 間 受付開始 PM 4:30~
総 会 PM 5:00~5:20
講 談 PM 5:30~6:20

演 題「加古川赤壁明神の由来」

講談師 ^{きよく どう なん かい} 旭 堂 南 海 氏 (加古川志方の出身)

懇 親 会 PM 6:30~8:00 ※今年も二次会を用意しました。

◆場 所 加古川プラザホテル2F
(JR加古川駅より南へ3分)
TEL (0794) 21-8877

◆会 費 男子 10,000円
女子 6,000円 (卒業生の家族も含む)

*配偶者・ご家族の方もご参加下さい。心から歓迎いたします。



ご出席の方のみ、同封の葉書で
5月20日までにお知らせください。
臨時会費は当日集金いたします。

旭堂南海氏(きよくどうなんかい)の略歴

【職 業】

講談師(こうだんし)

【芸 名】

旭堂南海(きよくどう なんかい)

【本 名】

内海浩明(うつみ ひろあき)

【生年月日】

1964年(昭和39) 4月20日

【出身地】

加古川市志方町西牧

【家 族】

父、母、兄、妹

【経 歴】

志方西小学校／志方中学校卒業
昭和58年県立加古川東高校卒業
昭和59年大阪大学文学部(文学科
国文学専攻)に入学
平成元年2月、三代目旭堂南陵(な
んりょう)に入門
「旭堂南海」の名をいただく
平成元年3月、大学卒業

※三代目旭堂南陵は大正6年生まれ、
上方講談の総師です。今年88才

【賞 歴】

平成8年大阪府舞台芸術奨励新人
に指定
平成9年「さくやこの花賞」(大衆
芸能部門)受賞

【主な職歴】

花園大学文学部非常勤講師(古典
芸能論)
大阪城南女子短期大学非常勤講師
(浪花の芸能文化)
宝塚市民カレッジ講師(上方講談
名作コース)
「講談一人続き読みの会」を毎月
主催

奈良テレビ放送「ざっくばらん」
に出演

ラジオ関西「ベストセラー読むな
らこれ」担当

ラジオ関西「新播磨風土記」担当
ラジオ関西「ぶらり西播磨漫遊記」
担当

ラジオ大阪特別番組「大和川付け
替え三百年物語」担当

宝塚市文化振興財団審議委員

【モットー】

講談は史実や伝説をもとにして一
人語りをする芸であるので、古典
としてある題材の他に、地域に残
る伝説や民話、また地域に貢献し
た人達の伝記を独自に講談に仕立
て、各地で口演をしております。
微々たる行為ではありますが、続
ける事に意義があると考えていま
す。殊に、私の故郷(兵庫/播磨)
の講談を「ふるさと講談」として
多く手がけております。それらが
「町おこし」の一助となれば、ま
た、地域を見直す契機となれば幸
甚と考えております。

【これまでの主な「ふるさと講談」】

「加古川赤壁明神の由来」(加古川
市)

「加古川の川物語」(加古川市)

「播磨の陰陽師・蘆屋道満」(加古
川市)

「加古川の先人物語」：「ヤマト
タケル」／「糟屋武則」／「法道
仙人」

「神吉城の攻防」／「黒田官兵衛
の妻」など

「ジョセフ・ヒコ物語」(播磨町)

「石の宝殿由来記」(高砂市)

「米田の宮本武蔵」(高砂市)



会員リレーエッセイ



温度差の旅

学校法人陸学園副理事長
前兵庫大学副学長
昭和40年経済学部卒業

渡辺 東

アメリカの大学を視察した。訪れた大学は、おしなべて学部生よりも大学院生の比率が高く、また学部生は、大学在学適齢者が約六割、本来ならばとうに大学を終えている年齢者が約四割以上もいる。彼等は若くして社会に出てさまざまな体験をし、さらに高度な専門知識や技術を新たに求めて入学している。

その理由のひとつとして、ビジネススクールの例をとると、入学前の年俸と卒業後の年俸とでは約二倍以上の開きがあることが挙げられる。社会に出て何年間分かの学費を自分で稼ぎ、奨学金等と合わせて卒業までの費用を出しても、将来のことを考えると充分にその投資額に見合うという合理的判断によるものである。日本では、学費は親が出し、学生は学費のためでなく遊びのためにアルバイトをする、といった学生が多く見受けられるが、彼等は、自分で経済的に自立して学ぶことを基本においている。それだけに、彼等の目的指向は明確であり、また、違った意味で誇りを持っていると見受けら

れた。その一例を挙げてみると、イエール大学のキャンパスを案内してくれた女子学生は現在四年生で、将来医師を目指している学生であった。

外国から大学関係者が二十名も来学する。その説明を行うとなれば、日本の学生であれば、その際の服装等もいろいろとそれなりに気にするであろう。しかし、彼女の場合は、(丁度その日は雨天であったが)持っていた傘は一本ホネが折れていて、一部分の布地は破れていた。しかも、彼女が身につけていたパンツの裾のパイピングが綻びている、といったスタイルであった。ところが、彼女は臆することもなく、堂々と自分の大学に誇りを持って、その故事来歴を種々のエピソードを交えながら説明していた。

その姿を見たとき、高額の学費・寮費(約五百万円)を支払い、高い知識を身につけているプライドのなせるわざか、と感銘を受けた。本学の学生であれば...と思いつつ。訪問した大学は、いずれも歴史・

規模もさることながら、それぞれの都市の風景と一体化していた。いや、大学そのものがひとつの街であった。違和感なく街になじんだ建物の間を市民が行き来し、キャンパスの境界も定かではない。いつの間にか、気がつけば街であり、また、大学の建物群の中にまぎれ込んでいた。

その建物はといえば、石造りの重厚さ、また歴史観を出すために、新しく造られた建物の外壁をも薬品を用いて、古い建物と同様に古さを表現するなど、調和・一体感にかなり神経を使い工夫を凝らしている。

一方、建物に入ると、コンピュータの電源は露出配線であったり、通路にむき出しに複写機が置かれていたり、まるで古城の中に突如として近代的な機器があわてて揃えられている、といったあたりは、やはり価値観の温度差なのだろう。

話しは変わるが、旅の中間にあたる週末に、ニューヨークを訪れた。想像どおり、この街はアメリカの縮図であった。さまざまな人種の人々が溢れかえり、建物はそれぞれ個性があり、高低も千差万別である。一見雑多であるが、全体的に見ると、何となく調和がとれている。この街が「モザイクシティ」であるといわれていることに妙に納得させられた。

やはり規制、規制ではなく、この国の自由と競争の原点を垣間見た思いがした。

近況報告

柳田 甲二 昭和37年 理学部卒
現在、病院通いと孫の守りのかたわら囲碁を楽しむ毎日を送っております。同好の士は「東はりま甲南会」に集いませんか？

中川 智章 昭和42年 大学院修了
兵庫大学教授
春の霞により神戸六甲山は薄い煙のようにかすんで見える昭和35年4月、私は法学部に入學した。六甲山の南斜面は桜の花が満開であった。今年も桜が満開のことと想い遠い昔の学生生活を懐かしく思う今頃です。

石川 晴雄 昭和48年 経済学部卒
加古川市役所
「いつもニコニコ現金払い」水道料金から税の滞納徴収に変わりました。

岸本 明広 昭和58年 法学部卒
(株)岸本印刷所
本社・工場を高砂に、営業所を東京・大阪・神戸といろんな所で、いろんな事をやっています。お手伝いできることがあればご一報下さい。

納 宏和 昭和60年 経営学部卒
手打うどん 夢平
「僕、市役所近くの裏道で小さなうどん屋をやっています。時代の流行、先進の技術一体どこ吹く風とやら。昔ながらの手打技法と昔ながらの天然素材で、昔と変わらぬ商品を昔のままの小さな店舗であせらず、のんびり作っています。」

内藤 将之 昭和62年 経済学部卒
ハナフサ洋菓子店
昭和36年創業のハナフサ洋菓子店をよろしく願います。

澤本 武司 平成6年 理学部卒
行政書士
各許認可手続き、融資申込手続き等加古川市役所近くでやっています。

平成16年度事業報告

平成16年4月20日 機関紙「東播磨甲南会報」発行
 平成16年4月29日 三木甲南会総会出席
 平成16年5月22日 第12回総会開催

平成16年度会計報告

歳 入		歳 出	
入会金	10,000	総会費用 (H16.5.22)	282,676
臨時会費	320,000	機関紙発行・送付費用	218,450
支部援助金	150,000	他甲南会お祝い金	40,000
協賛広告	320,000	他甲南会参加費	3,000
寄付金	100,000	次年度への繰越金	827,854
雑入	30,000		
預金利子	20		
前年度からの繰越金	441,960		
合 計	1,371,980	合 計	1,371,980

※上記の通り、収支は正確であると認めます。 監査人 西尾 淳

平成17年度事業計画(案)

平成17年2月 8日 台風23号・中越地震甲南同窓生被災者見舞金募金
 平成17年5月 7日 機関紙東播磨甲南会報8号発行
 平成17年6月11日 総会

平成17年度予算(案)

歳 入		歳 出	
入会金	10,000	総会費用	350,000
臨時会費	200,000	機関紙発行・送付費用	250,000
支部援助金	150,000	他甲南会参加費	30,000
預金利子	20	台風23号被災者募金	50,000
前年度からの繰越金	827,854	次年度への繰越金	507,874
合 計	1,187,874	合 計	1,187,874

東播磨甲南会

入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
 - 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
 - 入会金…終身会費1万円(初回のみ)。
 - 入会方法…入会金を所定の振込用紙で入金または総会時受付で、直接事務局へ
 - その他のご負担…総会・行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。
- ※詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

■事務局

〒675-0012
 加古川市野口町野口116-1
 (株)共立サービス 三宅 隆宏 気付

東播磨甲南会

TEL 0794-26-0090
 FAX 0794-21-5771
 E-mail konan@kyoritu.co.jp

進化している?と信じて。
 準備の段階で皆さんからの貴重な意見をお聞きし今回新しくいろんなことを試みました。

①機関紙に出来るだけ多くのメンバーに登場していただく、は「貫して変わらなせんが新しく「私の仕事」をテーマに皆様の仕事についてお願いしました。何をやらせているのか?こたわりは?メンバーに何かお得な役に立つ情報は?ビジネスの宣伝OK。そんなペーじにしたいな」と。当分シリーズで続けたいと思います。皆様からのお仕事PRの寄稿をお待ちしています。

②講演会・懇親会を誰でも参加頂ける様、出席者を家族まで広げました。

③講師も同窓生・甲南関係にこだわらず、皆様楽しく聞けるよう幅広く選ぶようにしてみました。

少しでも多くの方々に出席頂き、参加してよかったと言ってもらえるメンバーが1人でも増えるように。ご意見いっぱい下さい。

人集めに悩む61歳(T・M)

編集後記